# 令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立 第一中学校 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

| 教科 | | 分析(成果○，課題●) | 改善策(・) |
|---|---|---|---|
| 国語 | 成果 | ○言葉に関する知識についての設問は正答率が高く、知識が身に付いている。<br>○選択式の問題は全国や県平均と比較してよくできている。 | ・単元末に自分の言葉でまとめて書く活動を取り入れるなど、「書く」練習をする。 |
| | 課題 | ●「書くこと」と短答式の問題にやや課題がみられる。<br>●自分の考えを、自分の言葉で表現することに課題がみられる。 | |
| 数学 | 成果 | ○比例・反比例の基本的な計算の力が身に付いている。<br>○グラフや箱ひげ図からデータを読み取る力が身に付いている。 | ・自分の考えを式で表すことや、それを使って解決していく過程を説明することなどを授業に取り入れていく。 |
| | 課題 | ●「文字を用いた式」を書くことに課題が見られる。<br>●説明したり、考えを文章化することに課題がみられる。 | |
| 英語（成果または課題で話すことについて触れること） | 成果 | ○日常的な話題について、まとまりのある文章を書いたり、必要な情報を読み取る項目の正答率は、全国および県の平均を上回った。<br>○未来を表す表現を活用し、天気など身近な話題について伝えることができる。 | ・帯活動等で短文音声の要点メモやSmall Talkを継続し、間違いを恐れず表現する態度を育む。<br>・ワークシートを活用し、物語や説明文の概要・要点を捉える指導を取り入れる。<br>・スモールステップを取り入れ、自分の考えと理由を短文で書くハードルを下げる。 |
| | 課題 | ●短い文章の概要把握や、考え・理由の記述に課題が見られる。<br>●聞き取った情報の整理・処理力が県平均以下であり、社会的な話題に対し考えや理由を話すことに課題がある。 | |

(2)質問紙調査から見られた傾向

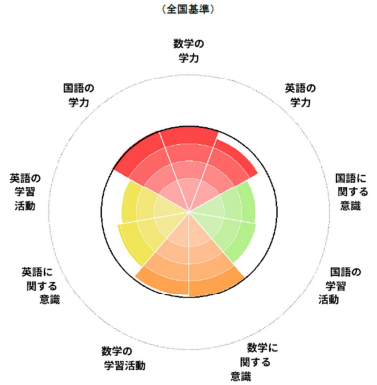
| | | 分析(成果○：強み/伸ばしたい点，課題●：弱み) | 改善策(・) |
|---|---|---|---|
| 質問紙 | 成果 | ○就寝時間や起床時間、朝食を食べることなど、生活の習慣はおおむね良い傾向にある。<br>○友達や周囲の大人との関係は、おおむね良好である。 | ・進路指導を中心に、自己の将来について、じっくりと考える機会を作る。<br>・自己の目標の実現のためには、学習面の努力が必要不可欠であることを継続的に伝える。 |
| | 課題 | ●将来の目標を抱けていない生徒の割合が高く、家庭での学習に、じっくりと取り組めていない。<br>●スマートフォン等を利用してSNSや動画視聴などをする時間が多い。 | |

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

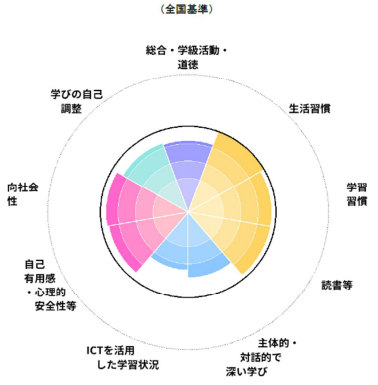
| | |
|---|---|
| 学校全体 | ・「こころ♡ほっとタイム」や教育相談を継続し、人との関わりを深めていく。<br>・教育相談や個別の進路相談などを通して、学習に関する具体的なアドバイスを提供していく。<br>・ICTを効果的に取り入れ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに取り組む。 |

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)

［教科を中心とした学力・学習状況］




［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］




【受検者数】

252 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

